

歴史民俗資料館を含む文化施設の今後の方針について

はじめに

現在、社会教育施設とりわけ文化関係施設においては、歴史民俗資料館の耐震化及び来館者数を増やす取り組みの検討、旧第2子ども館や白沢体育館倉庫などに収蔵してある文化財の新たな収蔵場所の確保、令和2年2月12日の福島県沖地震により被災したカルチャーセンターの復旧と3つの課題がある。

このような状況で、歴史民俗資料館の今後の方針と併せて他の施設についても対処することにより、効率的かつ複合的に問題解消方法の検討を行う。

1. 歴史民俗資料館本館について

- ①令和3年10月教育委員協議会において、本館の保存については耐震改修工事が必要であり、保存には多額の費用が生じることから費用対効果等も含めた検討案の提示が求められた。
- ②歴史民俗資料館本館については、近代建築物として歴史的建造物に該当する。
※歴史的建造物とは、地域固有の歴史的・文化的価値を醸成するもの、地域の方々に地元の建築物として愛されている建造物をいう。

2. 旧第2子ども館倉庫内収蔵物について

- ①旧第2子ども館は近年中に取り壊し開始を予定
- ②現在、阿武隈川右岸地区遺跡群発掘調査出土遺物約1,000箱、民具、古書等を収蔵
- ③本宮市の有形文化財、文書、美術品、民俗資料は、歴史民俗資料館本館・分館・プレハブ、ふれあい文化ホール収蔵庫、白沢体育館倉庫に分散して保管(表1)。されているがほぼ満杯状態で増設が必要。
- ④収蔵物については、基本的に永久保存となり、適切な保管が必要

【表1】

| 場 所 | 倉庫面積 | 展示面積 | 小計 |
|--------------|---------|--------|----------|
| 旧第2子ども館 | 98 | | 98 |
| 白沢体育館用具室 | 51.7 | | 51.7 |
| 白沢体育館トレーニング室 | 56.4 | | 56.4 |
| 資料館1階収蔵庫 | 29.5 | | 29.5 |
| 資料館2階収蔵庫 | 65.3 | | 65.3 |
| 資料館分館(1階+2階) | 463.3 | | 463.3 |
| 資料館第1プレハブ | 463.3 | | 463.3 |
| 資料館第2プレハブ | 463.3 | | 463.3 |
| 資料館1階展示室 | | 85.06 | 85.06 |
| 資料館2階展示室 | | 88.65 | 88.65 |
| 計 | 1,690.8 | 173.71 | 1,864.51 |

3. 歴史民俗資料館の今後の方針案について

①現存建物を解体し新たに資料館を建設

- ・現存建物の解体について理解をえることが必要
- ・現地では、面積が狭く展示面積及び収蔵面積の確保が困難
- ・解体及び新築に係る費用について検討が必要

②現存建物を耐震改修し継続して資料館として活用

- ・耐震改修費用と新築費用との費用対効果の検討が必要
- ・耐震改修後展示及び収蔵面積の減少
- ・利用者増について別途方策が必要

③しらさわ文化ホールに展示を移設し、現存建物の利用・解体については別途検討

- ・しらさわ文化ホールの展示スペースの減少。収蔵スペースは別途検討が必要
- ・現存建物の存続及び現地の利用方法の検討が必要
- ・宿場町関連の資料が実際の場所から離れて位置での展示となる

④展示ホール機能を持った収蔵施設を改修もしくは新築し、現存建物の利用・解体については別途検討。

- ・新築には多額の費用が必要
- ・移転までの期間が長期となる。(展示・収蔵施設建設に係る検討委員会等による検証が必要なため)
- ・建築場所等の選定が必要

4. 歴史民俗資料館移転後の活用方法

①現存建物利用時

- ・市民が自由に使えるフリースペース
- ・建物の景観を生かした(主に本宮宿を生かした)観光案内施設
- ・有名コーヒーチェーン店などの誘致による複合観光案内施設
- ・迎賓館的サロン
- ・地域交流センター、中央公民館図書室、エポカ、ソレイユもとみやなどと連携した街中回遊施設

②建物解体時

- ・フリー駐車場
- ・民間宅地造成
- ・ミニ公園
- ・屋台、移動販売車誘致施設
- ・電気自動車充電施設

しらさわカルチャーセンター災害復旧素案

1 現状と経緯

一 【経過】

- ・昭和43年3月竣工(しらさわ村民体育館)。平成6年3月しらさわカルチャーセンター落成
- ・平成23年3月11日震災による天井落下。平成25年3月再オープン
- ・令和3年2月12日福島県沖地震によりカルチャーセンター天井の被災を確認
- ・令和3年度第1号補正予算にてしらさわカルチャーセンター耐震診断業務委託料を計上
- ・令和3年4月28日しらさわカルチャーセンター耐震診断業務委託契約締結
 ※履行期限 令和3年9月24日
- ・令和3年9月13日に耐震診断判定を受理
- ・令和3年10月22日に耐震改修工事・災害復旧工事費の概算予算が提示。25日に部内協議
- ・令和3年11月5日に耐震補強・災害復旧工事実施設計概算予算が提示
- ・耐震改修工事実施設計費及び災害復旧実施設計費について予算見積依頼中(耐震診断業務委託業者に契約時から依頼済み。概算工事費についても同様)

二 【現状】

- イ 耐震改修による原状復帰をする → 2の一
- ロ 耐震改修による原状復帰をしない → 2の二
- ハ 施設利用者の意見(文化団体・サークル・学校等)
 - 問 カルチャーセンターが使えない現状について
 - 解 ・不便であるが公民館・体育館等の周辺施設で代替している
 - 問 不便に感じていることは
 - 解 ホールはサンライズもとみやがあるが交通手段がない
 遠い、もしくは街中なので運転していきたくない
 サンライズという施設を利用できることを知らなかった(学校)
 サンライズを利用したことがないので利用方法がよくわからない

その他の意見

- カルチャーセンターが使えない理由を知らなかった
- 使用可能となる時期は

2. 復旧素案

一 【原状復帰】

イ 耐震改修による原状復帰

- ・想定スケジュール(耐震改修による原状復帰)

| |
|--|
| 設計契約締結4年1月→設計完了4年7月→補正予算計上→工事契約10月→竣工6年11月 |
|--|

ロ イに大規模改修を加える

- ・内部仕上げ材の撤去新設
- ・屋根及び外装の塗装
- ・トイレ改修
- ・空調換気設備機器新設

ハ 予算見込み

| | 金額(千円) | 内訳 |
|---|-----------|-------------------------------|
| イ | 4億2,600万円 | 耐震補強設計費+災害復旧実施設計費+工事請負費 |
| ロ | 5億1,400万円 | 耐震補強設計費+災害復旧・大規模改修実施設計費+工事請負費 |

二 【代替案】

イ 既存施設による代替

- ・サンライズもとみやの使用

ロ 既存施設改修による周辺地区代替施設確保

- ・白沢公民館大ホールの改修(小劇場・コンパクトホール) 250人程度収容
- ・白沢体育館への電動収納椅子の設置 300席程度収容

ハ ・新築による原状復帰

- ・同等施設もしくは規模縮小による機能維持

ニ 予算見込み

| | 金額(千円) | 内訳 |
|-------|-----------|--------------------------------|
| 公民館改修 | 1億5,600万円 | 照明・音響改修、ステージ拡張等(小劇場化改修) 250人程度 |
| 体育館改修 | 4億円 | 白沢体育館東側倉庫に300席程度の電動収納椅子を設置 |

三 【その他案】

イ 多機能施設新築・改修

- ・歴史民俗資料館や旧第2子ども館等の収蔵物収納施設への改修(耐震改修費+倉庫への改装費)
- ・歴史民俗資料館の今後の方向性に基づく新規展示ホール建造
- ・上記2施設の機能を併せ持った複合施設の建造
- ・上記の多機能施設+小規模ホール(神楽舞台+観客席)

ハ 予算見込み

- ・福島県文化財センター白河館「まほろん」 33億円
- ・(仮称)郡山歴史情報・公文書館 28億円
- ・とみおかアーカイブミュージアム 20億円

3. 予算措置

ー【2の一】

- ・一般単独災害復旧事業債

以下交付要件に条件有

- ・公共事業債(社会資本整備総合交付金該当が必須)
- ・社会資本整備総合交付金防災安全交付金事業(社会資本総合整備計画外、施設要件有)
- ・地域防災拠点建築物整備緊急促進事業補助金(地域防災拠点建築物として活用すること)

【2の二、三】

- ・一般単独事業債

以下交付要件に条件有

- ・公共施設最適化事業債(公共施設総合管理計画及び延べ床面積の減少が必要)
- ・社会資本整備総合交付金防災安全交付金事業(社会資本総合整備計画外、施設要件有)
- ・社会資本整備総合交付金都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ)(社会資本総合整備計画外、都市再生整備計画施設要件有)
- ・地域防災拠点建築物整備緊急促進事業補助金(地域防災拠点建築物として活用すること)
- ・地域の特色ある埋蔵文化財活用事業国庫補助金

参考

カルチャーセンター利用人数

| 年度 | 年間 件数 | 200人 超件数 | 年間利 用人数 | 備考 |
|-------|----------|-------------|------------|--|
| 平成30年 | 104 | 6 | 6,254 | 最大利用人数500人 まゆみクラブ連合会会議、石橋建設安全大会、 小学校芸術鑑賞教室、菅野建設(株)安全大会、 白沢中学校芸術鑑賞教室、S. S. S Dance Sutadio |
| 平成31年 | 83 | 7 | 5,263 | 最大利用人数350人 菅野建設(株)安全大会、一条工務店、BG会芸能フェスティバル、 福島県手話サークル連絡協議会、成人式 |